

木と生きる幸福

 住友林業



なぜ、住友林業は、 350mの超高層木造ビルなんて、 つくるんだろう？

その答えは、少し先の未来に広がる風景に、きっと見えてくる。住友林業は創業350年を迎える2041年、都市のまんなか、地上350m・70階建ての超高層木造ビルディングをつくる計画を立てています。それは、地球環境を保全して持続可能な未来へ向かうために、木をより良く活用しなければという使命のもとに始める、大きな物語。そして、木の価値を高める技術において世界一の森林会社でありたいという情熱をかたちにすることです。たとえば新素材の開発や他素材とのハイブリッドなど、著しく進化を遂げる木材の技術開発においても、世界に誇れる存在へ。新しい木々が、日本の街を、森を、人々の生活を変えていく。人と木、様々な生物が共生できる「環境木化都市」をめざすW350計画。これからの「木」に、大いなる挑戦に、どうぞご期待ください。

街を、森に。環境木化都市 W350計画、はじまる。

